

ユーモアスピーチ船橋

2023 (R5) 年 6 月 8 日 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

197 回船橋ユーモアスピーチ

2023 年 6 月 8 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「ふるさと」「落とし物・拾い物」
「自由題」「失敗題」

ロングスピーチ

松永 成三郎さん:「(旧)満州とはどんな国だったか」

山中 昇さん:「日本の神様・仏様」

5 月 11 日の参加者:辻内、川田、入江、谷、山田、工藤、佐々木、中久木、松永、岩寺、町田、植野、長嶋 13 名

主催: NPO シニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長: 長嶋秀治 043-261-5832

発行者: 長嶋秀治

編集&事務局: 町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 15:15~17:30

会場 船橋中央公民館 第2集会室
4 階

前回のロングスピーチ (5 月 11 日)

「インドの会社で、定年後 10 年働いて得たもの」

川田 茂雄さま

1. インドの会社で働き始めた経過

①先輩 OB からの電話

②インドで、会社見学と面接し、アドバイザーとして契約

2. 仕事の内容と場所

①東京に事務所設立と駐在員 (3 人) とその家族の受け入れ

②日本のバイクメーカー 4 社、ホンダ・ヤマハ・スズキ・カワサキとの仲介

③インドの工場との仲介 (工場の場所は、添付の絵にて説明)

3. 先ず、上記『題』に対する結論:

*得たものは、『お金』と『エキサイティングな体験』

*得たお金の概要: 定年時貧乏だったが、この 10 年の稼ぎで、小遣いや旅行費用まで不自由が無くなった。

*エキサイティングな体験: 以下(4.5.6.7. は、インドで。8. は、日本で) に、個々に説明

4. お酒の話

①インドのド田舎のホテル (人口 1 万人くらいの街の No. 1 ホテル) にお酒が無い

②リキシャで、酒の買い出しへ

5. 夜行寝台列車の長距離移動

①オールドデリーの駅、列車の中身、現地到着時間

6. 車での移動長距離移動

①夜間移動: 工事中現場の危険、野良犬やノラ牛の危険、『Blow the horn』

②『ルールが無いのがルール』

③闇夜の黒牛との衝突事故

7. 貧富の差

①貧しい人たちの暮らし: 掘っ立て小屋の暮らしと物乞いの子供と老人

②物乞いの貧しい子供たちは、結構、明るくて活発

②豊かな会社のオーナー邸と車 6 台と運転手 6 人、日本人駐在員の雇人 3 人



8. 天皇陛下（平成）との出会い：

①神田の事務所からの帰り、11月下旬の寒い日信号待ちしていた私に天皇陛下が車の中から、車の窓を下げて、私に向かってニコニコと丁寧に挨拶をされた。信号待ちしていたのは私一人しかいなかったもので、間違いなく私一人に対する挨拶と知って感動しました。今まで、天皇陛下に対して特別な思いを持っていなかった私が、この時を境に、ガラリと変わりました。

《まとめ》

1. インドは、今後人口がドンドン増加し、勤勉で優秀な国民でも有り、国力も中国との差がドンドン無くなっていくでしょう。
- 2 私にとって、定年後の10年間、多くのインドの人たちとタツプリ付き合えて、エキサイティングで楽しくすごせました。

3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「うきうき」「薬」

工藤文夫：「声」

生まれてこの方、初めて「声」を意識したのは、小学2年の音楽の通信簿が「2」になったときです。親戚のなかで、「2」は過去誰も経験している人はいないらしく、結構な騒ぎになりました。声が悪いのか??その後、社会人になり、朝礼でスピーチが出来ず、2度目のショックを感じ、「江川ひろし」の教室に通い、何とかやってきました。その後「カラオケ」が流行りだし、点数が人さまよりも高得点が出るので、ややリベンジが出来たと、ほくそ笑んだものでした。しかし会話は相変わらず、ぼそぼそ声で、意識して話さないと、聞き返されることが多く、一生ものです。

中久木 一乗：「私が 吸殻を拾う 気持ち」

循環型社会の中にあって「タバコ吸殻」は再利用不可で、文字通りの「社会の中のゴミ」である。タバコの製造時に関与するヒトとその周辺には強い悪影響あるが地球的には限局的。タバコ製品使用時の煙の悪影響は陸上生物（特に人類）に及ぶが、熱するヒトとその周辺が中心。ところが、喫煙後の廃棄物由来の化学物質とマイクロプラスチックによる、空気汚染・土壌汚染・海洋汚染の悪影響は、ゼロ歳児から120歳の老人まで、タバコとは全く無関係な人を含め、全ての人類に、空気と（陸と海から得られる）食べ物を通して、地球規模で及ぶ。タバコが人類に与える害毒の範囲としては廃棄物が最大級と考えられる。日本でもこの危険性が社会的に認知されることを願い、吸い殻を拾い、報告している

植野 晏生：「薬」

薬はリスクだから飲むなという医者がいる。しかしその医者は痛風で足が腫れた事はないのだろうか。緑内障に罹ったことはないのだろうか。私は朝、痛風の薬、降圧剤と血サラサラ剤、手の震えを抑える薬、などを飲んでいる。また緑内障で視野がせまくなってきたので視野検査を受けながら目薬を差している。必要最低限の体力づくりにジムに通いながら薬を服用しているのだ。（これから高齢化が進むとますます必要最低限の薬は必要だと考えている

入江 清之：「薬」

内科から 10 種類・心療内科から 4 種類(眠剤)の薬を処方されて毎日飲んでいるので、眠剤による口渇・ふらつき・めまいなどの副作用が出、悩まされている。

川田 茂雄：「ワクワク」

私の『ワクワク』についてお話させていただきます。私が一番『ワクワク』するのは、前回、この船橋ユーモアで、町田さんがスピーチで『スーパー銭湯』を『数パーセント』と言い換えて、皆さんからドッと笑いを取ったような『話のネタ』を用意出来た時です。もし私が町田さんにその話をしたら、『あんたには、十年早い!』と、言われそうです。私は、この先 10 年は『ヒヤヒヤ・ドキドキ』しながらスピーチを続けなければならないようです。

松永 成三郎：「薬」

私事ですが、数日前私は入院して大腸内視鏡の検査を受けてきました。約一か月前のドックで、便潜血反応陽性と腹部の MRI で腫瘍らしきものが疑われていたからです。結果はオーライでしたが、内視鏡検査は点滴でほとんど眠らされて受けたにもかかわらず痛みを感じ、無麻酔だったらどれほどの苦痛だったかが想像できました。くすりの効果は大したものです。薬師と書き、「くすし」と読むと古来の医者 of 別名ですが、「やくし」と読むと如来さまになります。ソクラテスのその前の原始世界から人間とくすりの関係は深かったようです

町田 雅和：「うきうき」

千葉市内で小唄教室とマジック教室をやっていますが、新たに入会希望の方から、メールや電話で問い合わせがくると、どんな人だろうとうきうきします、声の調子やメールの書き方で、何歳くらいの方? 経験はあるの? と色々想像が膨らみます。小唄の会に 2 月に入会した新メンバーは元旅行会社に勤務されていた方で、海外経験が豊富、例会の後の飲み会でもどんな話が聞けるかうきうきしています。

佐々木 由美子：「ウキウキ」

日山に登山&ワラビ採りに行った。登山道に沿った牧場跡地にワラビが出ている。頂上まで登って下山しながらワラビを採るのだが、早朝からワラビ採りをしている人がいると「頂上やめてワラビ採りにする!!」という気持ちになる。気が急いで登りのピッチが速くなる。ウキウキが止まらず下山も速攻!! 斜面を登ったり下ったり夕方まで抱えきれないほど採った。今年で三回目 自然の恵みに感謝です。

山田 正國：「薬」

小生高齢なため、かかりつけ医から 10 種類以上の薬を処方され、薬局からは各薬に関する効能、服用方法 副作用をの一覧表をもらい大変助かっています。ただ一つ副作用の欄に発疹が出ることがあり、その時は医師または薬剤師に報告すること、あり相談すると、たいていの薬には末尾にそんな記載がある、気にしなくともよい。との返事だが、一種類ならば別の薬を選択することも可能だが、4~5 種類となると拮抗作用か相乗効果か現に痒があり、皮膚科でぬりぐすりを別に処方してもらってはいるが、何にか妙案はないものか?

長嶋 秀治：「薬」

今年、病院で処方してもらって飲んだ薬は 2 種類ある。2 月上旬花粉症の薬 60 日分。もう一つは同じころ金欠病と自己診断して診断してもらった整形外科からの薬。首が回らなくなり湿布薬と飲み薬。1 週間くらいで良くなったが金は天下の回り物も私のところを素通りしている。他に保険適用のない飲み薬 3 種類を毎晩かわるがわる飲んでいる。百薬の長と信じて飲んでいる。適量を飲んでいないと「百薬の長」も「百厄」になりかねないので注意して飲んでいる。



予告：7 月 「船橋ユーモアスピーチの会」

7 月 13 日 (木) 15 時 15 分～ 船橋中央公民館 4 階 第 2 集会室
ロングスピーチ

大塚 親雄さん：「知って得する話し方教室」

原田 益次さん：「ウクレレ歌謡漫談」と「連想あるある」

スピーチテーマ 「満足」、「用心」、「自由題」